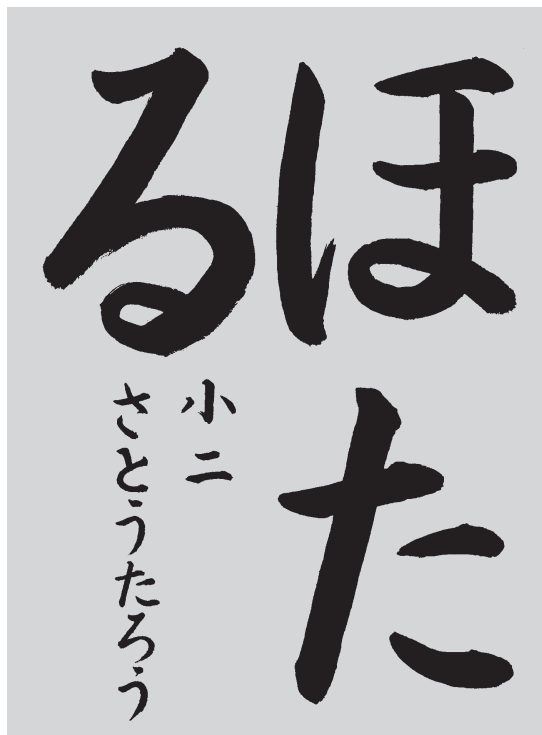


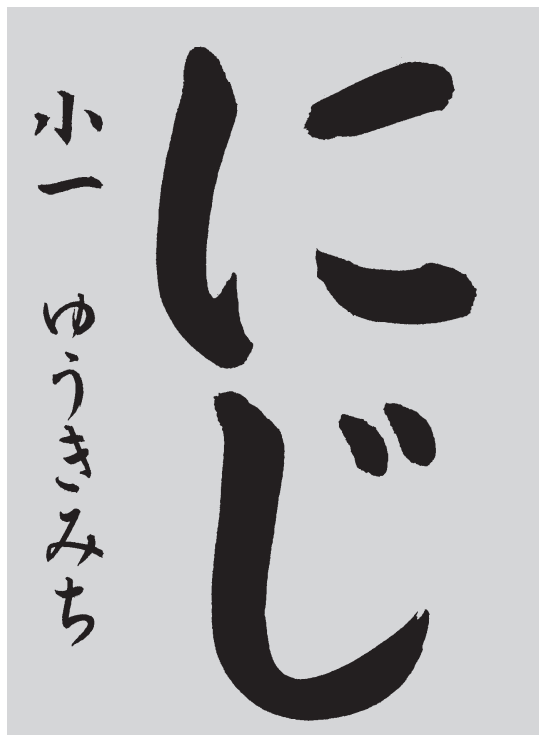
〔7月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



小 浜 大 明 先 生

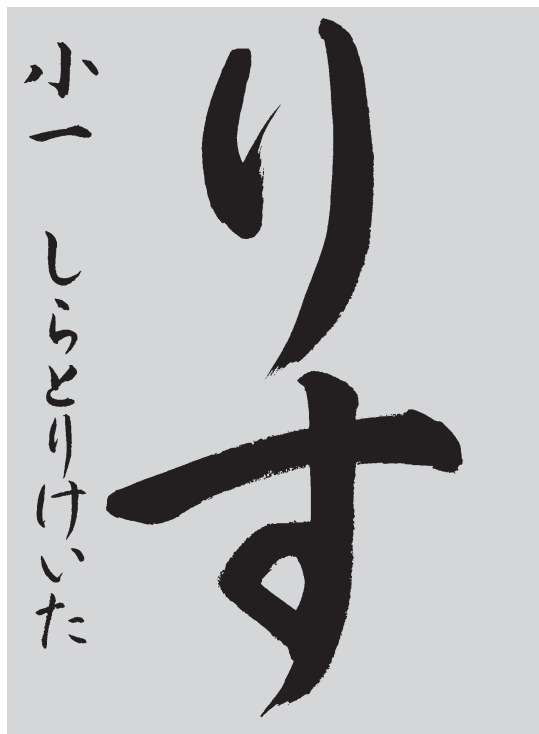
幼・小学1年参考手本



石 井 明 子 先 生



阿 部 蕙 芳 先 生



東 福 青 篁 先 生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本

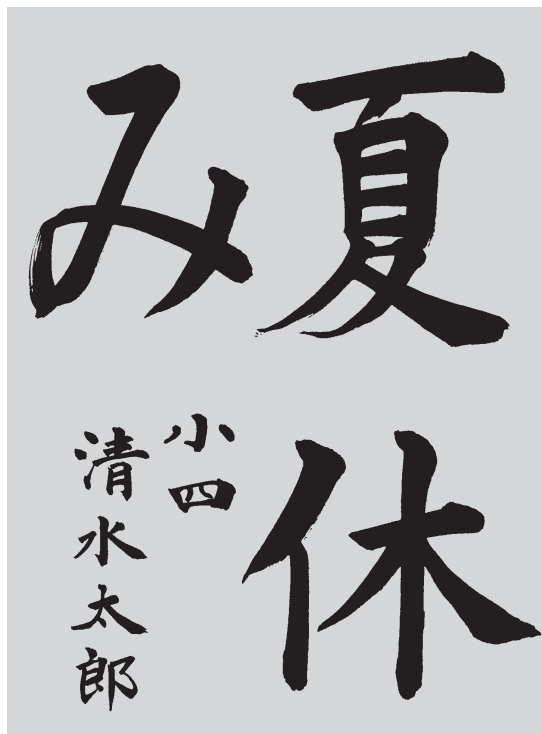


名越蒼竹先生

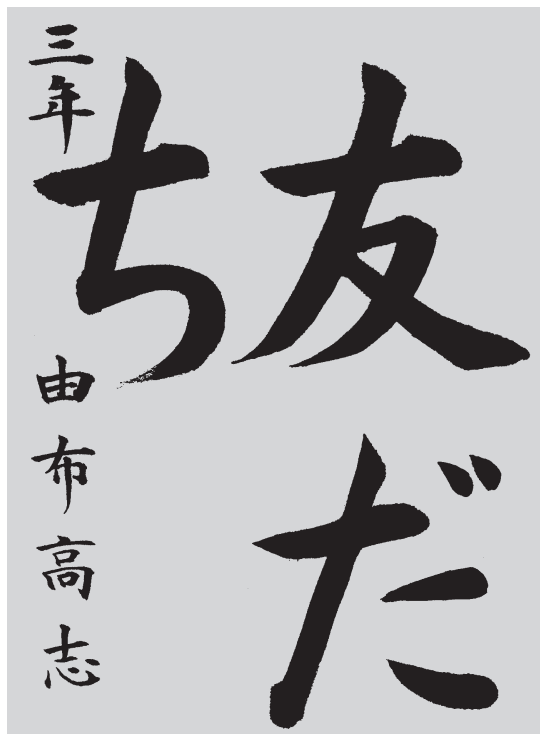
小学3年参考手本



板垣洞仙先生



辻元大雲先生



牧泰濤先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本

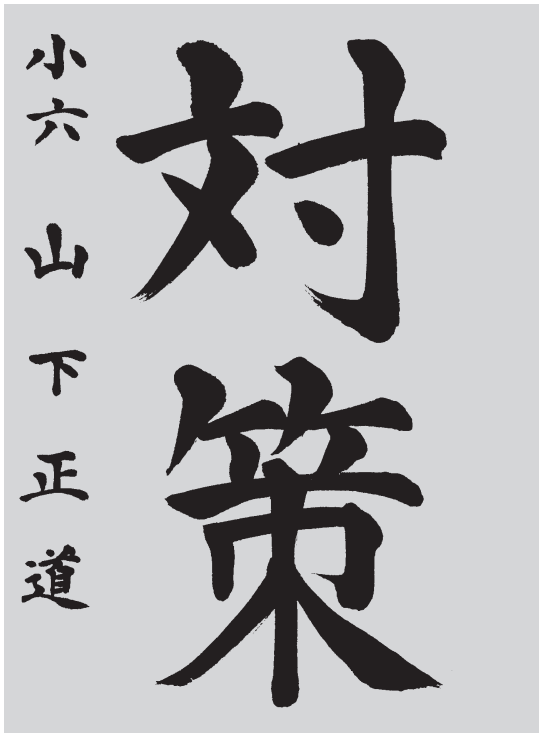


村山元信先生

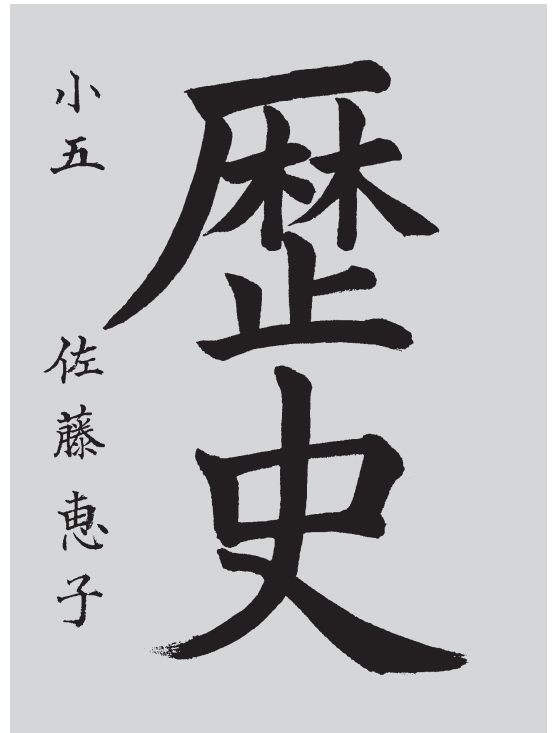
小学5年参考手本



小竹石雲先生



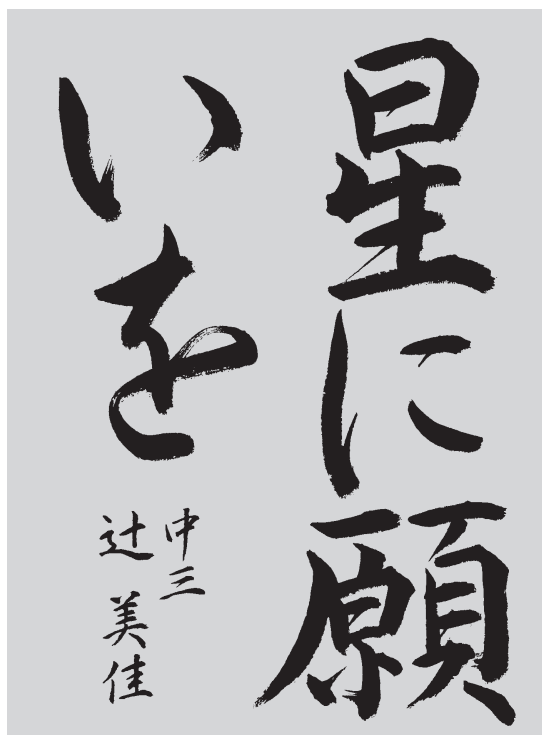
三浦鄭街先生



小林琴水先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

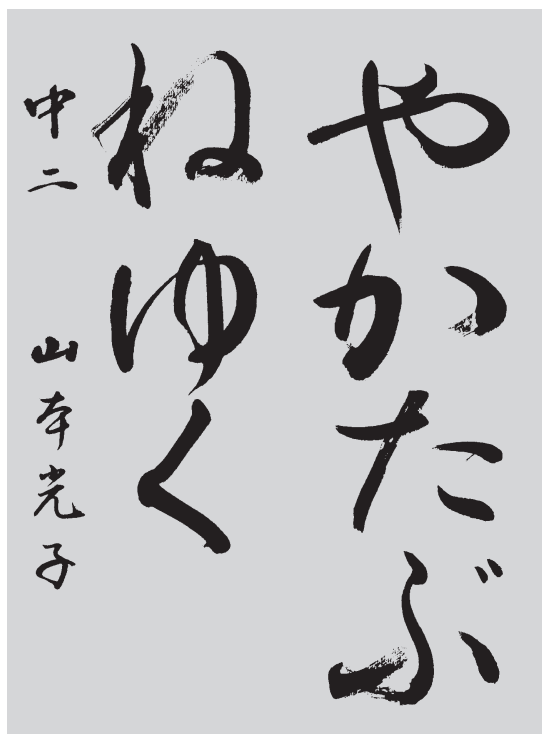
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



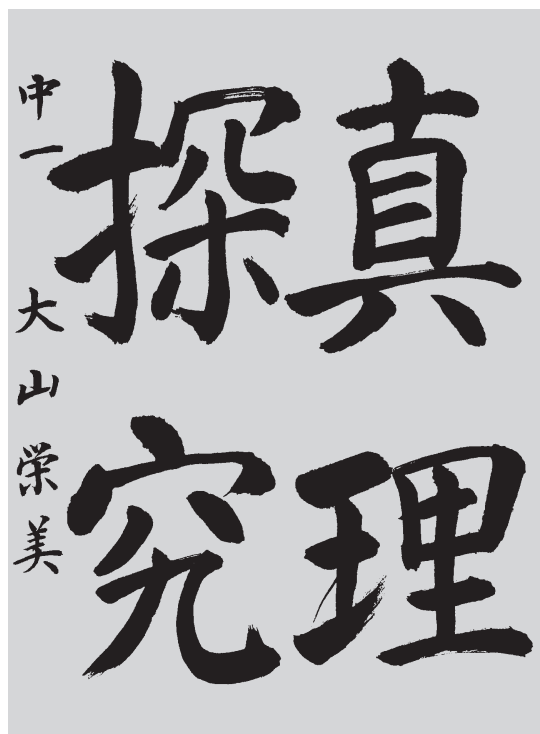
小 伏 小 扇 先 生



白 石 和 楓 先 生



砂 本 杏 花 先 生



恩 地 春 洋 先 生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支 部 名	を	う	「
	文	内	ぼ
段・級	章	容	く
	に	で	と
学 年	書		友
	い	自	達
名 前	て	分	と
	み	の	い
	よ	体	
	う	験	

支 部 名	元	ん	夏
	気	な	休
段・級	で	で	み
	い	遊	に
学 年	て	び	は
	く	に	
名 前	だ	行	家
	さ	き	族
	い	ま	み
		す	

中心



五画目を長く（ひしがた）

よこ分間を広げすぎない



「馬」の〈筆順〉
一「冂」用馬馬

この字のつりあいをとる線
四つの点の方向に注意

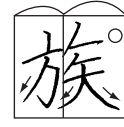


「自分の体験」
左右のつりあいをよく、字形をととのえましょう。
いったん止めて、右へはらう
幸と一（しんにょう）の
組み合わせ

中心



〈筆順〉
気気気
方向と長さ



「はらい」の方向と長さが大切
〈筆順〉
一「ナ」方



中心から書いて中心に戻る
※はらいの方向に注意して左右
のつりあいをとる

「夏休み」
筆順に気を付けて、ていねいに書きましょう。

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中学生

小学6年

支部名	現代は、誰でもがホームページを 作成し、世界に情報を発信する ことができきる便利な時代です。
段・級	
学年	
名前	
箕浦千穂	

支部名	文章を要約する場合 は、筆者の意図に沿っ てまとめることが大切。
段・級	
学年	
名前	
横山沙羅	

情
 1・2画目の
 「点」の方向
 報
 6・7画目を
 続けて

現
 3・4画目を
 続けて
 代
 4画目を
 のびやかに

中心
 情報発信する
 〈簡単な行書〉

『ホームページ』
 漢字、ひらがな、カタカナをつりあい
 よく書きましょう。

切
 七
 おれ
 七 (許容字体)

約
 点の位置と方向に注意

中心
 要
 漢字の外形を見て、字形を整えましょう。
 〔筆順〕
 一 而 西 要 要 要
 九画目を長く

学習指導要領・国語（書写）抄録

（平成20年3月28日告示）

小 学 校		第1学年 及び 第2学年	ア 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。 イ 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くこと。
		第3学年 及び 第4学年	ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。 イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
		第5学年 及び 第6学年	ア 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。 イ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。 ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。
中 学 校		第1学年	ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。
		第2学年	ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。
		第3学年	ア 身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。

行書を学ぼう (167)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

探 真 大
 探 真 大
 究 理 木
 究 理 木

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

ひらがなの字源 (167)

※源字については、異字体から変遷したもの*印を付して()にその字体を記した。
 ※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

く	ゆ	ね	ぶ	た	か	や	源字	字形
久	由	衤	不	太	加	也		
久	由	衤	ふ	太	か	や		
く	ゆ	ね	ふ	た	か	や		
く	ゆ	ね	ふ	た	か	や		

書写教育
 全国大学書写書道教育学会編より転載

第63回 全国学生書道展規定 抜萃

●全国学生書道展指導者作品展示

一、会 期 平成23年7月29日～8日2日

一、会 場 東京都立産業貿易センター(浜松町館)

一、募集作品 書写、書道作品、書体文句は自由

一、参加資格 第一部(幼稚園児・小学生)
第二部(中学生)
第三部(高校生)
第四部(大学・専門学校学生)

※個人の参加は認めない
(ただし、10点以上ならば可)

一、種 類 毛筆、硬筆、ほか

半紙(たて34×よこ25センチ)
※注意 美濃判は受け付けない

一、参加料 一単位……(10点)

五、〇〇〇円(一点五〇〇円)

一、参加要領

(ア)参加は一単位(10点)以上とし、何点でも参加できる。

(イ)一人何点(一枚を1点という)参加してもよいが、同一人の作品はクリップなどでまとめておく。

(ウ)作品は、裏打ちや表装などはしないこと。用紙は、じょうぶなものをを用いること。

(エ)各学校や塾の参加責任者は、本連盟で定められた出品用紙を使用して、作品といっしょに提出すること。

(オ)参加作品には、表面に、校名・学年・生徒氏名を記入する他、学校・塾の代表番号を記入する。

(カ)代表番号は、出品予定の通知をくださった団体に指定、通知いたします。

一、締め切り日 平成23年6月8日(水)

一、賞(個人賞)

一、全日本学校書道連盟大賞

一、全日本学校書道連盟準大賞

一、全日本学校書道連盟会長賞

一、財団法人書道芸術院理事長賞

一、社団法人全日本書道連盟賞

一、毎日小学生新聞賞(小)

一、毎日新聞社賞(中・高・大)

以上 A賞 副賞 楯

一、全日本学校書道連盟副会長賞(B賞)

一、全日本学校書道連盟奨励賞(C賞)

以上 副賞 トロフィー

一、推 薦

一、特 選

一、金 賞

一、銀 賞

一、銅 賞

以上 副賞 賞品

※くわしい募集規定をご入用の方は、連盟事務局までお申し込みください。

「全国学生書道展指導者作品展」

同じ会場で、教えた者と、教えられた者がいっしょに展示されることによって、より親しみがわく展覧会です。「育てる」ではなく、「共に育つ」ように工夫する。全日本書道連盟では、指導者と子どもが同じように悩み、同じように苦しみ、同じように喜びを味わって成長していくことを心がけています。

○出品者

- 全国学生書道展出品指導者
- 「書の教室」支部指導者
- 書道芸術院審査会員

○作品

半紙額
(額内寸50×38以内、縦横自由)

まくりのまま出品、連盟事務局でまとめて表装依頼します。

指定の出品票を添付して連盟事務局まで送付してください。

○出品料

一人一点一五、〇〇〇円
(表装料・返送費込み)

。指定の振替用紙にて5月末までに納入してください。

○締め切り

平成23年6月8日(水)
※学生展と同じ

漢字に親しもう

16

東日本大震災で被災された多くの皆様が一日も早く「元氣」を取り戻すことをお祈りいたします。七月号四年生の毛筆課題「元氣」を取り上げます。

元

訓音
もと ゲン・ガン



元 (二人のからだ)の 上につけて、まるい あたまをあらわしたじ。



氣

訓音
キ・ケ



氣 (いきが) でて くる ようすと、米 (いこめ) を くみあわせたじ。



あなたまは からだの いちばん 上にあるので、「さき」「はじめ」などの いみを あらわす。

こめを たく ときに であるゆげを あらわす。「いき」「ガス」「くうき」などの いみが ある。

いみ・じゅくこ

①もと。ものごとのはじめ。元氣・元日・元旦・元祖・元年・根元・紀元

②あたま。かしら。元首・元老・元帥

③昔の中国の王朝。元寇

つかいかた
○ベルが鳴ると元氣よく校庭へとび出す。○はればれとした元日の朝。○華道の家元。○元金と利子。

いみ・じゅくこ

①くうき。ガス。水蒸気。気体・気圧・気温・気球・大気・湯気

②自然現象。気象・天気・電気

③いき。呼吸。気絶・氣息・気管

④心のはたらき。元氣・活気・殺気

⑤生まれつきの性質。氣質・短気

⑥きもち。こころもち。気分・勇氣

⑦あじ。塩気

つかいかた

○まちがいに気がつく。○火の気のないへや。○あらしの来る気配。○兄弟は気色ばんで議論した。○気色のわるい話。

編集余録

○4月号から書の教室、毛筆の課題をリニューアルして審査を2回終了しました。二文字の課題を多くしましたが全体的には皆さんの作品がしっかりと書けて来たように感じます。一点一点文字を正しく、整えて書く訓練、繰り返しになりますが、名前も大切に書きましょう。そのポイントに注意して、のびのびと楽しくやってみましょう。

○東日本大震災から2ヶ月経過しました。少しずつではありますが復興に向けて歩き始めた気がいたします。「書の教室」でも影響があるようです。東北の製紙工場が操業を停止して紙が足りなくなっています。6月号は今までは違う紙を使用しました。厚さが多少薄いので毛筆と硬筆の課題が見えにくくなりました。色々工夫して出来る限り良い本にしたいと思います。書友の皆様には少しの間不便をかけますが宜しくお願いいたします。

○節電・節水をする。私達が毎日出来る協力です。中学生のあなた、朝まで電気つけっぱなしではないですか？シャワーの水使い放題ではないですか？その節約の心が大きな力になると思います。

(鄭街)